

昭和52年5月5日号で紹介された
東大初のチアリーダーは、
松島みどり前代議士だった。

セピアの肖像

portrait of sepia

1977 May, 5th

vol. 30

「学問と野球の『両立』する顔」と題されたグラビア記事は、髭の捕手・藪亀邦恭クンと東大初のチアリーダーの松島みどりさん（1956）を特集した。

白いミニスカート姿の松島氏。経済学部の2年生だったが、「野球部のマネージャー志望でしたが断られたので、応援部に押しかけ入部。バトン部を作りました」

その後、朝日新聞に入社した松島氏は1995年、自民党東京都連の新人公募に応募し、翌96年の衆議院選挙では落選したものの、2000年に初当選、06年外務大

臣政務官、07年国土交通副大臣を歴任した。現在は落選中だが、次期総選挙に捲土重来を期しているという。

撮影・小口正

